

標準作型

○印・播種 □印・収穫

| 作 型  | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| つる性  |    |    |    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   |     |     |
| つるなし |    |    |    |    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   |     |     |

**栽培のポイント**

マメ科は連作をきらうので、4～5年は栽培をしない。

**畑の準備と元肥** 酸性土壌に弱いので、苦土石灰を必ず入れて酸性を矯正しておく。  
 播種もしくは定植の2週間前までに苦土石灰(10kg/a)、堆肥(100kg/a)を施し、15～20㎝の深さまでよく耕しておく。  
 元肥は溝状に施し、種子に直接肥料がふれないように覆土をしておく。

**播 種 (種まき)** 種子は一晩水に浸しておき、2㎝覆土しておくとして1週間程度で発芽をする。  
 早取りを狙うには4月中旬ごろ直径9㎝の鉢に2～3粒の種をまき、トンネルを被覆して約20日間育苗する。  
 通常は5月上中旬から6月中旬にかけて随時、畑に直まきする。  
 播種は、一ヶ所に3～4粒を、1～2㎝の深さに2条まきにする。  
 つるなし種は、春まきと秋まきができる。播種量の目安：4～6dl/a

**定 植** 栽植距離  
 つるあり種 株間 45～50㎝、うね幅 180～200㎝  
 (条間 70㎝ 2条植え 通路 90㎝)  
 つるなし種 (わい性) 株間 30～40㎝ うね幅 120～150㎝  
 (条間 30㎝、千鳥2条植え 通路 70㎝)

**間引き** 本葉2枚のころに間引きをおこない、2本立て(苗)にする。

**整 枝** つるあり種は下の方の1～3節のわき芽を除去しておく。  
 親づるは、初めのうちだけ支柱に誘引する。草丈は支柱にあわせて摘芯する。

**追 肥** 肥沃な土地では特に必要としないが、葉色が悪く生育が悪いようであれば間引きの時に化成肥料を2kg/a ぐらい株元から15～20㎝離してばらまき中耕しながらうねを盛りあげておく。本葉3～4枚の頃・収穫し始めた頃・収穫中の3回程度。

**病虫害防除** 初期に葉の裏にアブラムシ類がつくことがあるので注意が必要。

**肥料施用量**

(1 a 当たり使用量)

| 肥 料 名 | ジシアン有機化成S806号 | BMようりん | NK化成2号 | 施 肥 時 期                                |
|-------|---------------|--------|--------|--|
| 元 肥   | 8 kg          | 2 kg   |        | 播種一週間前                                 |
| 追 肥   |               |        | 2 kg   | 1回目： 本葉3～4枚の頃<br>2回目： 収穫始め<br>3回目： 収穫中 |